

エスディージーズ 「かながわほけんSDGs」の取組み

令和元年 11 月
株式会社神奈川保健事業社

1 トップコミットメント

人間は、誰しも病気をせずに健康で豊かな暮らしをしたいと思っています。しかし、健康は生きる目的ではなく、毎日の生活のための資源、いわば糧（かて）であるといわれています。

そして、健康を保つ意味の「保健」を続けるためには、社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的健康と能率の増進を図る『公衆衛生』が極めて重要になっています。

弊社、神奈川保健事業社は、これまで、給排水管工事、水関係施設の維持管理、貯水槽・排水管清掃、廃棄物処理など水を中心とした公衆衛生の業務に取り組んできました。

2015 年に、^{エスディージーズ}SDGs という 2030 年に向けての環境・経済・社会のゴールとなる持続可能な開発目標が採択され、その実現のためには、全ての人々の参画による多様なパートナーシップが重要であり、新たなアプローチの創造と実践が求められています。なかでも、民間企業の影響力と期待される役割は極めて大きいとされました。

このたび、弊社は、社会の一員として、^{エスディージーズ}「かながわほけんSDGs」を策定し、本業を通じて、SDGs に多少なりとも貢献しようと思いました。

どうか、これからも、お客様、仕入先各位、関連団体各位、社員各位それぞれにご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



代表取締役 西之宮 聡

2 持続可能な開発目標（SDGs）とは

2015 年、国連は国際社会全体の 2030 年に向けた環境・経済・社会についてのゴールを持続可能な開発目標（SDGs）として採択しました。

このSDGsは、政府や自治体だけでなく企業・団体においても取り組む機運が高まっており、既に、大手企業だけでなく中小企業、一般社団法人など全国の数百企業・団体が活用されています。

SDGsは、企業・団体にとっては、経営の道しるべになるものであり、社会が抱える問題を解決し、世界全体で 2030 年をめざして明るい未来を作るための 17 のゴールと 169 のターゲットからなっています。



3 弊社の紹介・取り組み

弊社は、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会による持続可能な社会の実現に向けた取り組みが大切な課題との認識を持ち、管工事業、施設管理業、廃棄物処理業等の事業活動を通じて常に環境保全を考慮して地域社会に貢献することを環境経営方針の理念として掲げてきました。

弊社は、SDGsとの関係でいえば、17 の目標の「3 すべての人に健康と福祉を」、「6 安全な水とトイレを世界中に」などにかかわりの深い業務を行っており、これから

も、SDGsの達成に貢献すべく、持続可能な開発目標「^{エスディー・ジーズ}かながわほけんSDGs」の取り組みを行い、社会的責任を果たしてまいります。

4 機会とリスクそしてSDGsとのつながり

取り組むべき社会課題と事業との関連

環境・社会に係るリスクは、企業のサステナビリティを脅かすリスクとなる一方、社会課題に取り組むことは、新しいビジネスチャンスにつながります。

弊社は、取り組むべき社会課題に係るリスクとチャンス را把握し、リスクの低減に努めるとともに、社会環境を解決する新たなビジネスモデルの創出を通じて、持続可能な社会と企業の持続的成長をめざしています。

弊社は、取り組むべき社会課題として、次の5つの重点課題を特定しました。これから、絞り込んだ課題がどのようにSDGsの解決に貢献できるのかを説明します。

5つの重点課題と主な機会・リスク

重点課題1 脱炭素社会への移行

重点課題の考え方

弊社は、水を中心とした給排水管工事、貯水槽・給排水管工事などの業務に取り組んでいます。

本業のもととなる「水」そのものが、温暖化やその影響とみられる自然災害の多発によって、量や質に大きな変動や取り返しのつかない事態が起こっては、業そのものが立ち行かなくなるだけでなく、我々の生活の基盤そのものが成り立ってはいかないと考えています。

現在は、低炭素社会の取組をしていますが、これからは、さらに進んで脱炭素社会への移行が重要な課題と認識しています。

【機会】

企業、行政等との連携による事業機会の創出

【リスク】

気候変動に伴う物理的損害

環境規制の強化によるコスト増加

環境対応が遅れた場合の顧客の減少

【重点項目】 環境経営の推進

【具体的項目】 エコアクション21の推進とリアクションへの対応、環境活動レポートの発信
(社全体の取組)

SDGsへの貢献

この重点課題に取り組むことで、弊社はSDGsの目標3、6、9、11、12、14の達成に貢献します。

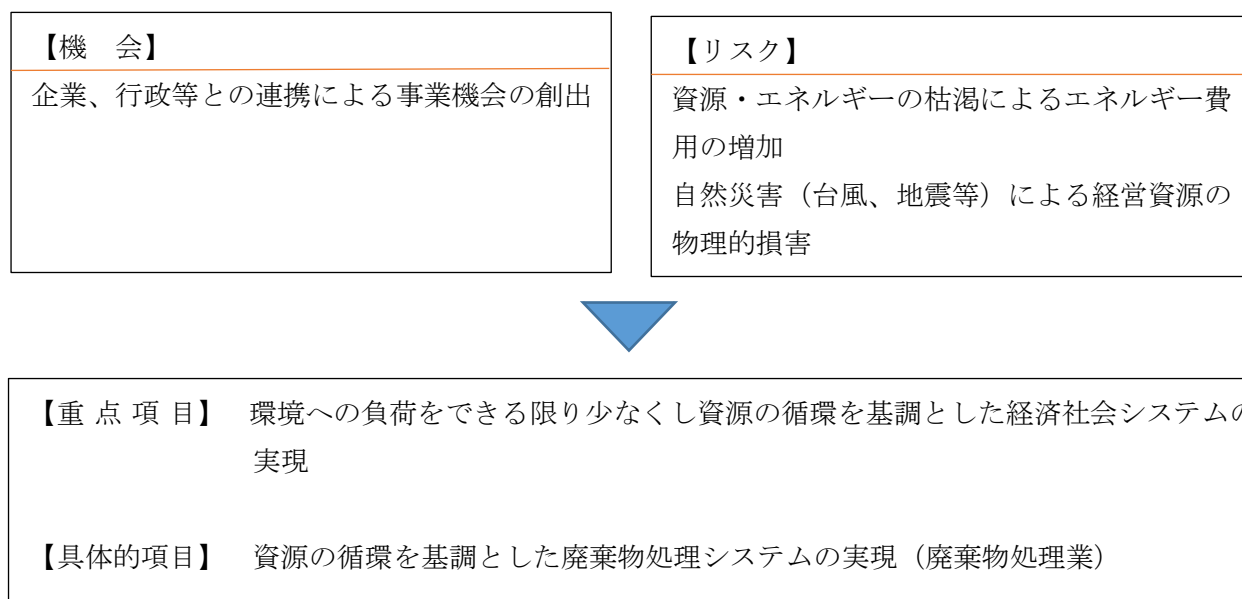


重点課題2 資源循環型社会形成への寄与

重点課題の考え方

天然資源は限りがあり、資源を効率良く利用し、持続ある成長を続けるためには、排出された廃棄物を単に処理する社会から、廃棄物の発生を極力抑え、発生した廃棄物は環境に負荷を与えないように再利用や再資源化する“資源循環型社会”への移行を速やかに目指す必要があります。

弊社は、お客様から依頼を受けて行政の許可をいただいて廃棄物の収集運搬業、中間処理業を行っていますが、単に収集運搬、中間処理を行うのではなく、環境への負荷をできる限り少なくし、資源の循環を基調とした経済社会システムの実現を、この業態から目指す必要があります。



SDGsへの貢献

この重点課題に取り組むことで、弊社はSDGsの目標6、9、11、12、14の達成に貢献します。



重点課題3 安全・安心のインフラ・サービスの提供

重点課題の考え方

弊社は、集合住宅等の水に係る設備改修工事、改善工事、新築工事、清掃などの給排水工事を行っています。こうした設備やサービスの提供は、製品の品質はもちろんのこと、施工時のサービスだけでなく緊急時などの際のサービスが適切に行われてこそ、安全、安心なインフラでありサービスといえることができます。

長寿社会、高齢化社会が到来する中で、私たちが安全、安心に暮らすことができ、さらに、社会の良質なインフラの形成も行うことができるので重要な課題と考えています。

【機 会】

高齢化に対応した安全で安心のインフラ・サービスの提供機会の拡充
長寿先進ダイバーシティ社会形成に取り組む企業等との連携

【リスク】

人口減少社会の到来による注文・依頼の低下
(注)
高齢化に伴うニーズへの対応が遅れた場合の顧客からの注文・依頼動機の低下

注) 人口減少社会が到来すると今より人口が減少して現状に比して注文・依頼そのものが少なくなるということがリスクと考えられる。(重点課題4も同様。)

【重点項目】 安全・安心のインフラ・サービスの提供
【具体的項目】 将来にわたり漏水のない安全な住宅価値の維持（工事業）
人と自然に安全な水の供給（施設管理業）
快適で機能的な生活空間の提供（清掃業）

SDGsへの貢献

この重点課題に取り組むことで、弊社はSDGsの目標3、6、9、11、12、14の達成に貢献します。



重点課題4 お客様満足の追求

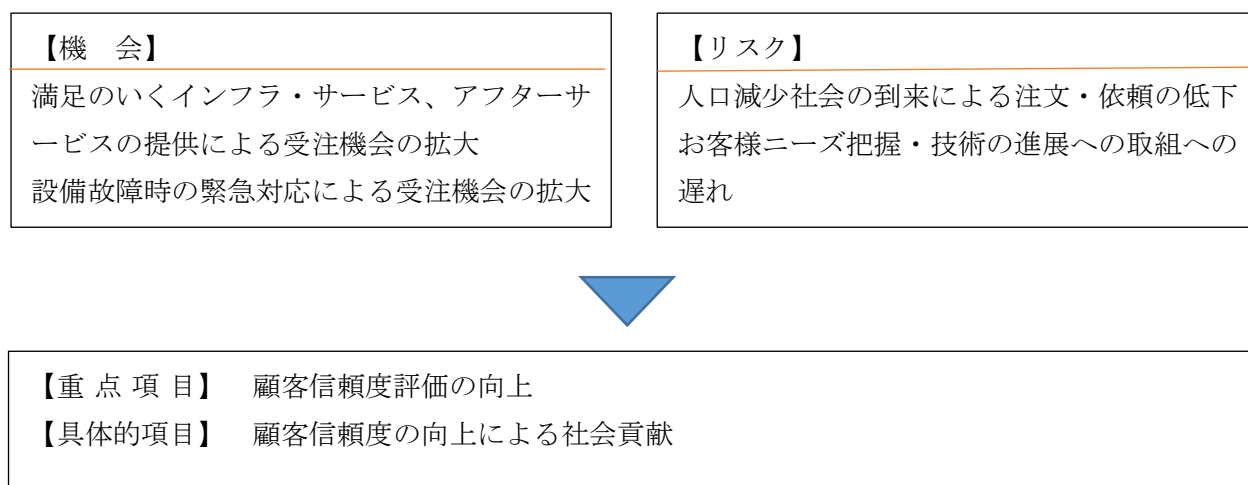
重点課題の考え方

弊社は、水に関係する業を創業以来行っていますが、これまで、民間企業、自治会、行政等から数多くの表彰状、感謝状をいただいています。

感謝状をいただくには、施工時の工事の方法やサービスが単に良いだけではなく、工事、サービスが終了して実際にお客様がその設備、サービスを使ってみて、満足された結果、いただくことができたものと

考えています。

社員の喜びは言うまでもありませんが、お客様の喜び、満足は何にも代えられず、この取組みは重要な課題と考えています。



SDGsへの貢献

この重点課題に取り組むことで、弊社はSDGsの目標11、12の達成に貢献します。

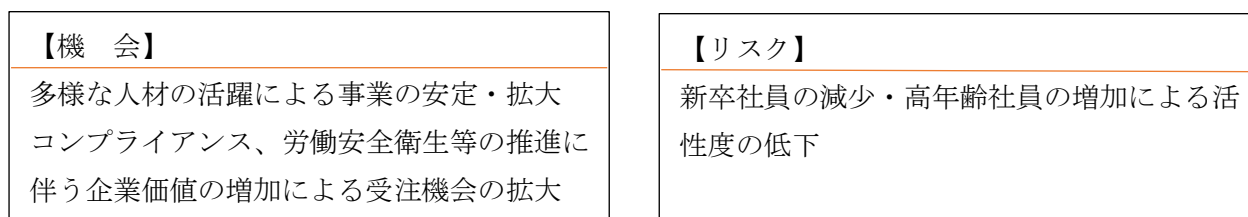


重点課題5 企業価値の向上

弊社は、資本金、従業員数からみて、中小企業に属します。

中小企業は、人材の幅と数そのものは大企業と比べると少ないですが、若手から熟立した人材、様々な経験を積んだ人が正社員、嘱託社員、日々雇用などの形で個性豊かに働いています。

弊社は、対象としている分野が公衆衛生という地味な分野で地域に密着した業態ですが、こうした人材が活躍できる場があることこそが事業の安定・拡大、さらには受注機会の拡大につながり、それはまさに企業価値の向上であり、このことが弊社のみならず広く地域にとっても社会的な利益になるものと考えています。





- 【重点項目】 社員を大切にする社風の醸成
健康経営の推進
魅力ある会社の発信
- 【具体的項目】 多様な人材の活用
健康経営の取組
事業継続計画による災害時の取組
地域との連携
ホームページによる効果的な情報発信

SDGsへの貢献

この重点課題に取り組むことで、弊社はSDGsの目標3、5、8、10、11、12の達成に貢献します。



5 具体的な取組内容

4までは、重点課題を説明してきましたが、ここからは、重点課題に対応した個々の業務とSDGsを見ていくことにします。

重点課題1 脱炭素社会への移行

重点項目 環境経営の推進

エコアクション21の推進とリアクションへの対応、環境活動レポートの発信

脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会による持続可能な社会の実現に向けた対応が必要であり、工事業、施設管理業、清掃業、廃棄物処理業等の事業活動を通じて常に環境保全を考慮して地域社会に貢献します。

環境経営目標の設定、達成状況の把握・評価を行い、今後の取組みを検討、実施するとともに、環境活動レポートを発信します。

2030年度に向けて、エコアクション21の成果が環境の保全につながるよう取組みを見直し、推進します。

この取組みにより、弊社はSDGsの目標3、6、9、11、12、14、15の達成に貢献します。



重点課題2 資源循環型社会形成への寄与

重点項目 環境への負荷をできる限り少なくし資源の循環を基調とした経済社会システムの実現

資源の循環を基調とする社会システムの実現（廃棄物処理業）

事業活動から発生する産業廃棄物は、適切な処理・処分やリサイクル・資源化がされないと、環境や人に影響を与えるだけでなく、事業活動が円滑に進まないことになります。

当社だけの対応では、限界があり、関連会社との連携、環境経営の推進を通じて進めます。

■ 産業廃棄物の処理

環境への負荷をできる限り少なくし、資源の循環を基調とする経済社会システムの実現をめざしています。

きめ細かな解体分別処理で埋め立てゼロをめざします。ごみの種類により、適正かつ効率的な処理方法を提案します。全国で展開するネットワークで対応しています。



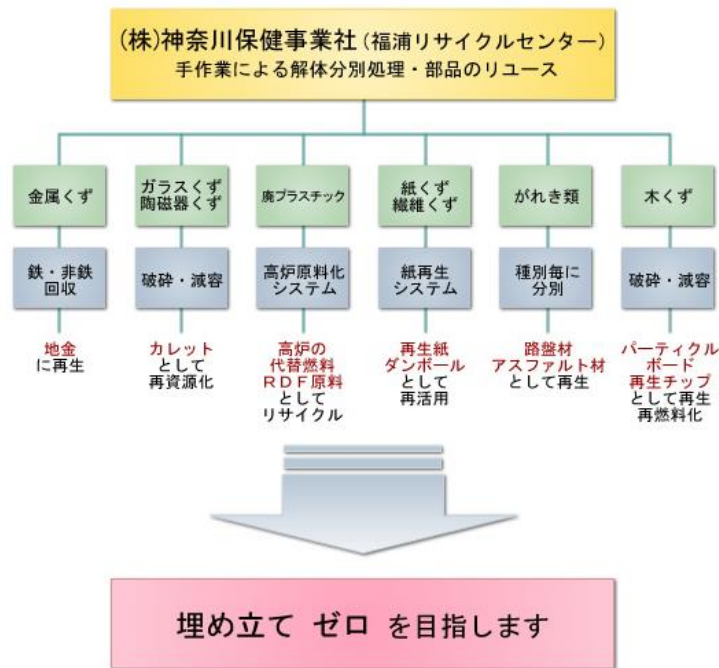
産業廃棄物破砕前



産業廃棄物破砕ライン



産業廃棄物破砕後



■ 一般廃棄物の処理

家庭から排出される廃棄物と事業活動に伴って排出される廃棄物（産業廃棄物を除く）を一般廃棄物といい、適切に収集運搬し、市町村の処理施設で処理しています。

収集先の事業所や処理を行う市町村との連携協力により、資源の循環を基調とする社会システムの実現を図っていきたいと考えています。

この取組みにより、弊社はSDGsの目標6、9、11、12、14、15の達成に貢献します。



重点課題3 安全・安心のインフラ・サービスの提供

重点項目 安全・安心のインフラ・サービスの提供

将来にわたり漏水のない安全な住宅価値の維持（工事業）

分譲された住宅を将来にわたり、漏水のない安全な住宅として維持し建物の資産価値を確保できるか提案し、工事を行っています。

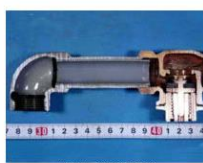
■ 給排水管改修リニューアル工事

○ 劣化調査

給排水管の劣化状況の現況調査を行い、適切な工事方法を提案し、安全な住宅をめざします。

【劣化状況の調査方法】

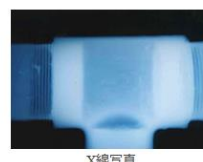
抜管調査



内視鏡調査



X線調査



○ 給水管改修工事

経年劣化による赤水・漏水などの不具合を改修するため、配管そのものを新しい錆の出にくいものに取り替えます。

○ 排水管改修工事

漏水を解消するため更新工事を行います。



■ リフォーム工事

給排水管改修工事と合わせて、流し台、風呂釜、便器、床・クロスなどを省エネタイプのものに取り替えます。



■ 新築建物の給排水衛生空調設備工事

公共施設、住宅を中心に、衛生空調設備、空調換気設備、ガス設備等の設備工事を施工します。



空調設備配管工事



空調機械設置工事



換気ダクト設備工事

この取組みにより、弊社はSDGsの目標6、9、11、12の達成に貢献します。



■ 人と自然に安全な水の供給（施設管理業）

建築物における保健性、快適性、利便性、安全性などを確保するためには、建築物の施設管理が不可欠であり、とりわけ、ライフラインとなる水道、排水のほか、空調、消防が極めて重要です。

■ 水道施設維持管理

日々の暮らしに密着した水を供給する水道施設の良好な環境を維持するため、適切な維持管理が必要です。

弊社では、市町村レベルの上水道施設から簡易専用水道に至るまで、管理体制の強化、高品質な点検作業を徹底・実施し、人と自然に安全な水を届けています。



〈給水施設点検〉



〈ブースターポンプ点検〉

■ 排水処理施設維持管理

きれいな水を自然に戻すため、公共下水道やビルの浄化槽など幅広く施設管理を行っています。

24 時間 365 日の管理体制を敷き、機器の作動状況、排水処理後の水質を常にチェックし、異常の発見に努めています。施設には、異常時の対応ができる技術者が常駐しています。



■ 空調機器管理

○ ビル空調機器管理

空調は、現在のビル環境には欠かせません。万が一の事故や故障の場合には、利用者への迷惑や混乱、思わぬ出費が発生します。

安全で快適な環境づくりのため、定期的なメンテナンスを勧めています。



○ 家庭用エアコン機器管理

エアコンの掃除は、家庭用スプレーや掃除機、機器の自動掃除で除去できない内部の汚れまで除去します。

新品時の性能をよみがえらせ、清潔な風を送り、病気にならないようにし、省エネルギー・電気代節約にもつながります。

■ 消防設備点検

万が一の火災にも確実に作動するように日ごろからの維持管理が重要です。

消防法に基づく消防用設備の点検・報告、整備点検を含めて適切な維持管理を行っています。



この取組みにより、弊社はSDGsの目標6、9、11の達成に貢献します。



快適で機能的な生活空間の提供（清掃業）

建築物における衛生的環境を確保することは、快適で機能的な生活空間を提供することにつながります。貯水槽の清掃、排水管の清掃、汚水・雑排水槽、グリストラップの清掃、建物の清掃を行っています。

■ 貯水槽清掃

水道本管から分かれて建物の敷地内にある貯水槽は、水道局から手を離れて建物の設置者又は管理者がきちんと管理することになります。

1年に1回以上の定期清掃と管理についての検査が義務付けられています。

民間マンションなど1300か所以上の貯水槽について実施しており、常にきれいに明るく気持ちの良い清掃作業となるよう、心掛けています。



■ 排水管清掃

雑排水管、汚水管、通気管、外部樹は、使用に応じて、油脂類、固形物の付着、錆等の原因により、詰りが発生し易くなります。

1年に1回の排水管清掃が必要です。

神奈川県内を中心に年間300か所（3万戸）のマンションの排水管を清掃しています。



■ 汚水・雑排水槽、グリストラップの清掃

排水先や放流先よりも低い位置にある汚水・雑排水槽は、特定の建築物の場合、6月に1回、排水設備の清掃を行わなければなりません。

グリストラップは、排水に含まれる生ごみ・油脂などの汚濁物質を分離収集して下水道に直接流さないようにしていますが、定期的に清掃して、排水管の正常な機能が阻害されないようにしています。

■ 建物清掃

建築物の衛生的な環境を保持することによって、より快適で機能的な生活空間を提供するトータルサービスを行っています。

【サービス内容】

日常清掃管理、硬質床面・カーペット・じゅうたん清掃、ブラインド、レジスター清掃、店舗・住宅等現状復旧清掃



この取組みにより、弊社はSDGsの目標3、6、9、11、12の達成に貢献します。



課題4 お客様満足追求

重点項目 顧客信頼度評価の向上

■ 顧客信頼度の向上による社会貢献

○ やるべきことをきちっとやる

顧客信頼度とは、お客様の期待値を超えることと考えています。

現場において適切な機械、設備又は器具を使い、あるいはサービスを用いて、業務や人の生活が快適に暮らせるようにすることであり、それは、値段の高いものや特別のサービスではないのです。

弊社は、特別のことをするのではなく、やるべきことをきっちりやることに徹しています。社員個人の能力形成に国家資格等の取得の奨励を行っているのは、そのためでもあります。

社員は、顧客の心情を読み取ることを通常業務の中で行っており、それに対応して顧客の期待している以上のことが成果としてあらわれることが起きています。

これまで、業務に対する感謝状・表彰状を各業務部門とも自治会、マンション管理組合、行政などから数多くいただいておりますがそのことが顧客満足の一つの表れとみています。

○ 顧客信頼度の向上による社会貢献

顧客満足に至れば、必然的に再度お願いしようということになり、さらに、他の人や組織にそれがつたわっていくというようになります。

その結果、業務量は増大し利益が上がることにはなりますが、それよりも、満足度の拡散により社会に貢献するサービスと商品を提供することになってつながっていくことが期待されます。

この取組みにより、弊社はSDGsの目標11、12の達成に貢献します。



重点課題5 企業価値の向上

重点項目 社員を大切にする気風の醸成、健康経営の推進、魅力ある会社の発信

企業価値の向上は、環境経営を行っていくうえで一番の基礎であり、これなくしては、会社は長続きせず、経営の担い手となる社員の暮らしもおぼつかなくなります。

多様な人材の活用

社員は、会社を構成する最も大切な資源であり、社員なくしては会社が成り立ちません。

新規採用は、新卒採用だけでなく、社会経験がある中途採用者を積極的に採用し、会社体力の維持向上を図っています。

健康で働く意欲のある高年齢社員に対しては、一定年齢以上に達した場合でも、本人の希望を聞いて、元気に働いてもらい、当社の強みとしています。

障がい者雇用

身体に障がいのある方の採用を積極的に行い、法定数をクリアーしています。また、障害者の方が使いやすい車いす用トイレを設置しています。

ジェンダー平等

意欲と能力のある女性の積極的登用、男女を問わない育児休暇等の積極的な取得を社員に促し、男女共同参画の取り組みを進めています。

事業継続計画（BCP）による災害時における対応

台風の襲来等の自然災害に対応するため、交通機関の計画運休、市町村による早期避難が呼びかけられています。

自然災害が発生又は発生するおそれがある場合の対応を明確にし、お客様に迷惑をかけないように事業継続計画（BCP）により取り組みます。

健康経営の取り組み

社員等の健康保持・増進の取組が、将来的に企業の収益性等を高める投資であると捉え、社員等の健康づくりを経営的な視点から考え、戦略的に実践する「健康経営」の取り組みを進めています。横浜市から横浜健康経営認証事業所として認証されています。



地域との連携

横浜ベイスターズなど地域の企業を大切にし、積極的に応援することにより、地域との

連携を図っています。

水源林の保全は、環境の保全だけでなく、災害の防止にもつながり、神奈川県、横浜市の水源基金に拠出しています。

ホームページによる効果的な情報発信

新しい情報を常に追加して、顧客やステークホルダーに様々な情報を提供し、魅力ある会社を広報しています。

この取組みにより、弊社はSDGsの目標3、5、8、10の達成に貢献します。



6 宣言

株式会社神奈川保健事業社のすべての役社員は、

「かながわほけん^{エスディージーズ}SDGs」の取組みにより、すべての人が生きがいを持ち、社会が元気になるよう、SDGsの達成に貢献していきます。

SDGsの解決に貢献するために、2030年度あるいはその先に向けての弊社の目標は、現在検討中です。

今後、具体化したら、皆様にお知らせします。

